

平成21年度・地域密着型金融の取組み結果について

平成19年8月24日に一部改正されました「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」に伴い、地域密着型金融の今後の取組みは、プログラム形式をとらず、同監督指針に盛り込まれ恒久化されました。

そこで、同監督指針における趣旨・要請等を踏まえ、「地域密着型金融推進計画」を策定し、平成19年度から平成20年度の2年間に引続き、平成21年度から平成23年度の3年間に於ける「アクションプログラムに基づく個別の取組み」の実施スケジュールに基づいて「地域密着型金融推進計画」を積極的に実践しているところです。

なお、平成21年度の具体的な取組み状況につきましては、以下のとおりでございます。

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援機能等の強化

動機	営業地区内において、新たに事業を起そうとする意欲のある方へ、情報の提供と創業等資金の支援により、地域経済の活性化に寄与したい。
内容	創業を計画・準備している独立意欲のある方または創業後2年以内の事業者へ開業資金、開業後の運転・設備資金等を融資しています。(商品名:あぶくまサポート・創業者支援資金) 信用保証協会、TKC会計人、日本政策金融公庫等の外部専門機関との連携を強化し、創業・新事業を側面から支援しています。
成果	平成21年度・あぶくまサポートの実績 ・新規実行 1件 3百万円・融資残高 9件 14百万円 (金額等の融資条件に合致していない場合、プロパー資金で対応した案件もあります。) 外部専門機関との協議会・交流会等参加により、創業・新事業支援に係る情報交換を行っています。 ・信用保証協会との協議会・TKC経営革新情報交換会・TKC相馬部会定期総会 ・TKC会計人との第10回交流会・TKC経営革新セミナー2009・日本政策金融公庫との連携推進協議会 日本政策金融公庫との連携融資実績(創業・新事業支援を含むすべての実績) ・平成21年度 8件 43百万円・覚書締結後の融資実績累計 68件 783百万円

要注先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化

動機	地元企業の育成・振興は、地域における当金庫に期待される重要な役割であり、取引先企業の経営改善を支援・指導することにより、企業の経営悪化を防止し、財務内容の健全化に資するものとする。
内容	経営支援企業を選定し、当金庫がアドバイス等のサポートをすることにより、当該企業の健全化を図っています。 営業部店長を経営支援責任者とし、本部担当部署と協力して指導・支援にあたっています。 平成21年度の経営支援企業は53先を選定。(ランクアップ支援12先、ランクダウン防止41先)
成果	経営支援企業53先のうち、平成22年3月期におけるランクアップ企業は6先、ランクダウン企業は2先。

事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

不動産担保・保証に過度に依存しない融資(地域密着型金融推進商品)の促進

動機	事業価値を見極める融資手法をはじめ中小・小規模企業に適した資金供給手法の徹底を図るため、担保・保証(特に個人保証)に過度に依存しない融資の推進は有効であり、また、中小・小規模企業金融の円滑化を図るためには、緊急保証制度を含む信用保証協会の積極的な活用が不可欠であり、よりいっそうの活用を図りたい。
内容	担保・保証(特に個人保証)に過度に依存しない融資及び緊急保証制度を地域密着型金融推進商品と位置づけ、年間実行額2,000百万円を目標に促進を図っています。 地域密着型金融推進商品は次のとおりです。 ・あぶくまサポート2000&5000(福島県信用保証協会・特別追認保証)・緊急保証制度(信用保証協会) ・TKC経営者ローン(TKC連携)・あぶくまビジネスローン(商工会連携)・あぶくまサポート(創業者支援資金) ・あぶくまエクスプレス3000&800(宮城県信用保証協会)・あぶくまパワーサポート(事業資金カードローン)
成果	平成21年度の地域密着型金融推進商品融資実績 ・新規実行 262件 1,971百万円・融資残高 1,114件 5,617百万円

目利き能力・経営支援能力等の向上、人材の育成

動機	地域密着型金融推進のための態勢整備を図るため、利用者ニーズに対応できる十分な金融手法や各種事業の知識を持った人材を育成したい。
内容	企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組みを継続するため、(社)東北地区信用金庫協会、(社)福島県信用金庫協会主催の研修へ積極的に職員を派遣し、人材の育成を図るとともに、利用者ニーズに対応できる目利き能力・経営支援能力等を修得させる。
成果	目利き能力・経営支援能力等を修得させるため、下記研修に職員を派遣しました。 ・融資推進研修（地区協主催） ・目利き力養成研修（地区協主催） ・融資実務講座（県協主催） ・目利き融資推進講座（県協主催）

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域を担う若手経営者・後継者に対する情報提供機能の強化

動機	地域を担う若手経営者・後継者に対する情報提供機能の強化に向けた取組みを継続的にを行い、地域経済へ貢献したい。
内容	あぶくま元気塾を開催し、地域を担う若手経営者・後継者にビジネスマッチングの場を提供、さらに経営に有益な各種情報を継続的に提供しています。
成果	平成21年度のあぶくま元気塾活動状況は次のとおりです。 ・会員へレポート等の資料配布 ・あぶくま信用金庫創立60周年記念講演会開催 ・役員研修会開催 ・第7回総会および講演会開催 ・第1回経営力向上セミナー開催 ・第2回経営力向上セミナー開催

平成21年度 経営改善支援先の取組み実績

(単位:先数、%)

債務者区分	期初 債務者数	うち 経営改善 支援取組先	うち			経営改善 支援取組率	ランクアップ 率	経営改善 計画策定率
			期末に 債務者区分 が上昇した 先	期末に 債務者区分 が変化しな かった先	うち			
	A					/A	/	/
正常先	950	4	-	2	4	0.4%	-	100.0%
要注先	277	46	4	42	46	16.6%	8.7%	100.0%
要管先	19	2	1	1	2	10.5%	50.0%	100.0%
破綻懸念先	21	1	1	-	1	4.8%	100.0%	100.0%
実質破綻先	49	-	-	-	-	0.0%	-	-
破綻先	6	-	-	-	-	0.0%	-	-
合計	1,322	53	6	45	53	4.0%	11.3%	100.0%

- ・ 期初債務者数及び債務者区分は平成21年4月当初時点で整理しています。
- ・ 債務者数、経営改善支援取組先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・ には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者は には含めるものの には含みません。
- ・ 期初の債務者区分が「要管先」であった先が期末に債務者区分が「その他要注意先」にランクアップした場合は には含めます。
- ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。
- ・ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・ みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。